

過 去 問 題 集

【過去問題について】

1. 前年度に（出願があり）実施された入学試験の問題のみ公表しています。
2. 「外国語」「日本語」においては、母国語での受験はできません。
3. 実施方法（試験時間等）については、各研究科の「募集要項」を参照してください。
4. ここに掲載されている過去問題のうち、著作権を有する問題（引用文献等）については、すべて著作権許諾を行った上で掲載しています。

2024 年 10 月 5 日（土）実施
東京経済大学大学院経済学研究科

*** 解答は別紙の解答用紙に記入すること。**

以下の 4 つの設問すべてに解答しなさい。なお、解答の冒頭には、問題番号を記すこと。また、作図においては、縦軸名と横軸名を明記すること。

【1】貯蓄投資バランスアプローチ (IS バランスアプローチ) に関する次の問いに答えなさい。

1. 1) 財市場の均衡条件と貯蓄の定義式から、民間の貯蓄投資差額、財政赤字、貿易収支の黒字の間に成り立つ関係式 (貯蓄投資バランス式) を導きなさい。ただし、輸出を X 、輸入を M 、消費を C 、租税を T 、国内総生産を Y 、民間の貯蓄を S 、政府支出を G 、投資を I で表すこと。解答では、貯蓄投資差額、財政赤字、貿易収支黒字と記号を対応させること。また、途中の導出過程も示すこと。

1. 2) 上で求めた貯蓄投資バランス式から、一国の貿易収支の赤字の原因を説明しなさい。

【2】以下のケインズ型消費関数からなる 45 度線分析を考える。

$$C = A + \alpha(Y - T), \quad 0 < \alpha < 1, \quad \text{ただし、} T, \alpha \text{ は定数}$$
$$Y: \text{GDP}, C: \text{消費}, A: \text{基礎消費}, T: \text{租税}, \alpha: \text{限界消費性向}.$$

2. 1) 45 度線分析では政府支出を増やす方が減税よりも GDP 増大効果が大きい。その理由を説明せよ。解答では数式だけでなく、その背景にあるメカニズムも説明すること。

2. 2) 均衡予算乗数が 1 になる理由を説明せよ。

【3】ある国の t 期の実質 GDP の産出構造が生産関数 $Y_t = A_t K_t^{1/4} L_t^{3/4}$ の形で近似できるものとする。 Y_t は実質 GDP、 A_t は全要素生産性、 K_t は資本ストック、 L_t は労働投入量である。次の問いに答えなさい。

3. 1) 生産関数の両辺を対数でとり、 $\Delta x/x$ (あるいは dx/x) のように変化率の式に変換せよ (途中計算も書くこと)。

3. 2) ある年の労働者 1 人当たりの実質 GDP の成長率が 5%、労働者 1 人当たりの資本ス

ックの成長率が 8% であったとき、その年の全要素生産性の成長率は何% であったといえるか。途中計算も示すこと。

【4】国際間の資本移動が完全に自由で変動為替相場制下のマンデル・フレミング・モデルに関する次の問いに答えなさい。

4. 1) マンデル・フレミング・モデルを IS・LM モデルと利子率 (金利) 平価説の数式を用いて示しなさい。なお、マンデル・フレミング・モデルでは小国経済が仮定され、将来の為替レートについては静学的期待が仮定され、貿易収支は為替レートに関して常に増加関数 (すなわち自国通貨の減価が貿易収支黒字を増加させる) であるとしている。

4. 2) 4. 1) の数式を図で表しなさい。

4. 3) 4. 2) で示した図を用いて政府支出を増やす政策が GDP を増やす政策として無効となる理由を説明しなさい。

* 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

下記の 3 問から 2 問を選び答えなさい。解答する際に、問題番号を明記すること。

- 1 成長会計（growth accounting）による成長率分解式を説明したうえ、経済成長に対する人口ボーナスあるいは人口オーナスの役割を論じなさい。
- 2 1980 年代以来、先進国と途上国における国内所得格差が拡大してきた。グローバリゼーションとの関連で、各国の所得格差拡大をもたらす諸要因を分析しなさい。
- 3 国際ロボット連盟（International Federation of Robotics）によると、2022 年に中国が導入したロボットは約 29 万ユニットで、2 位日本の 5 万ユニットの約 6 倍に達している。ルイス転換点理論や産業高度化理論を応用し、中国におけるロボット大規模導入の背景を説明しなさい。

* 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

以下のすべての問題に解答せよ。

問題 I

教育年数と所得には正の相関が見られる。この関係を説明する経済学の理論に人的資本理論とシグナリング理論がある。両者が教育と所得の関係をどのように説明するか、それぞれの理論の基本的な考え方について述べよ。

問題 II

経済学の実証研究で用いられる手法の一つに、差分の差分法（Difference-in-differences ; DID）がある。

- 問 1 差分の差分法の基本的な考え方を説明せよ。
- 問 2 差分の差分法を使った具体的な分析例を述べよ。

2025 年 2 月 17 日（月）実施
東京経済大学大学院経済学研究科

*** 解答は別紙の解管用紙に記入すること。**

問題 1. 以下の企業の採用行動に関するシグナリングゲームについての問いに答えよ。

このゲームのプレイヤーは自然、企業、並びに労働者である。
ゲームの開始時点において、自然は労働者の能力を「高」、もしくは「低」のいずれかに定める。
次に、企業は労働者に対して支払う賃金を高い水準である 4、もしくは低い水準である 1 のいずれかに決める。企業は能力が「高」の労働者を雇った場合に生産物 6 を、能力が「低」の労働者を雇った場合に生産物 3 を得る。企業の利得は、能力が「高」の労働者に高い賃金を払った場合に、 $6 - 4 = 2$ 、能力が「低」の労働者に高い賃金を払った場合に $3 - 4 = -1$ となる。
最後に、労働者はこの企業で働いて先の企業の決めた賃金を得るか、他の企業に転職して賃金を得るかを決める事ができる。能力が「高」の労働者の場合、転職して得られる賃金は 3 であり、能力が「低」の労働者の場合、転職して得られる賃金は 1 である。労働者が転職した場合の企業の利得は -1 となる。

1. 企業が労働者の能力を判別できるとき、上記のゲームをゲームの木として記述し、サブゲーム完全均衡を示せ。
2. 企業が労働者の能力を判別できないとき、上記のゲームを情報集合を明示したゲームの木として記述し、サブゲーム完全均衡を示せ。
3. 企業が労働者の能力を判別できないとき、労働者が資格を取得することができている状況を考える。能力が「高」の労働者は費用をかけずに資格を取得することができ、能力が「低」の労働者は資格を取得するのに 3 の費用を要するとする。このときのゲームの木を記述し、サブゲーム完全均衡を示せ。均衡が複数あるときはゲームの木を複数書いても良い。
4. 分離型均衡を実現するために企業はどのように賃金構造を変えれば良いかを記せ。

問題 2. 価格を P 、数量を Q としたとき、需要曲線が $Q = 8 - P$ である市場に、限界費用が 4、固定費用が 0 である企業が N 社いるとする。企業は同時に意思決定するとする。

1. $N = 2$ のとき、各企業が生産量を戦略としたゲームの均衡を求め、均衡での価格を求めよ。
2. $N = 2$ のとき、各企業が価格を戦略としたゲームの均衡を求め、均衡での価格を求めよ。
3. 企業の数 N のとき、各企業が生産量を戦略としたゲームの均衡での価格を N の関数として記せ。
4. 各企業が生産量を戦略としたゲームにおいて、企業の数 $N \rightarrow \infty$ に向かった極限における均衡価格を記せ。

2025 年 2 月 17 日（月）実施
東京経済大学大学院経済学研究科

*** 解答は別紙の解管用紙に記入すること。**

下記の 3 問から 2 問を選び答えなさい。解答する際に、問題番号を明記すること。

- 1 ペティ=クラークの法則 (Petty-Clark's Law) とは何か。経済発展とともに経済構造は法則が示したように変動するが、その背後にどのようなメカニズムが働くのか。需要と供給の両側面からそのメカニズムを説明しなさい。
- 2 ルイス転換点を通じた途上国の経済構造はどのように変化するのか。「中所得の罠」(middle income trap) という概念を引用しながら、その構造変化を説明しなさい。
- 3 「ボーモル効果」(Baumol's Effects) あるいは「ボーモル病」(Baumol's Disease) に言及しつつ、ポスト工業化社会における第 3 次産業発展がマクロ経済に及ぼす影響を論じなさい。

2025 年度入学試験（2 期）経済学研究科・修士課程
留学生入試 筆記試験問題
【専門科目：経済政策】

2025 年 2 月 17 日（月）実施
東京経済大学大学院経済学研究科

*** 解答は別紙の解答用紙に記入すること。**

以下の 3 問から 2 問を選択し、解答せよ。解答に際してはできるだけ詳しく説明すること。
また、選択した問題を明記すること。

- ① 社会保険料の帰着に関して、経済学的に考察せよ。
- ② 政策の影響を評価するための手法の一つである回帰不連続デザイン（RDD）とはどのような分析手法か述べよ。その際に、具体例を挙げて説明すること。
- ③ 労働市場における最低賃金引き上げの影響について、経済学的に考察せよ。

田本五郎

■ 注意事項 ■

問題用紙・解答用紙とも封筒の中に入っているが、試験開始の指示があるまで封筒から出さないこと。
試験開始までの間に、熟読してください。

解答にあたっては、以下の点に注意すること。

- (1) 解答用紙について
 - ①「受験番号」欄のある解答用紙（1枚）を使用のこと。
 - ②最初に「受験番号」を記入すること。
 - ③試験終了後は、解答用紙を封筒に入れ、机の上に置くこと。なお、問題用紙は持ち帰って構わない。
- (2) 解答は、日本語で行うこと。
辞書の参照可。ただし、電子辞書・専門用語辞書は不可。
- (3) ①受験票、筆記用具、時計以外の物は、カバンの中に収納した上で、隣の座席に置くこと。
②特に、ペットボトル飲料等は、机の上に置かないこと。
③携帯電話、通信機器等は、時計としても使用することは出来ない。必ず電源を切ること。
※ これらを守らない場合は、「不正行為」と見なす。
- (4) 試験室内では、すべて監督者の指示に従うこと。

日
本
語

問題

日本の大学院で学びたいと思うに至った経緯について、600 字以上 800 字以内で書きなさい。その際、東京経済大学に入学後の抱負についても簡単に述べなさい。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題：試験時間90分)
【10:00～11:30】

2024年10月 5日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

専門科目

■ 注意事項

問題用紙・解答用紙とも封筒の中に入っているが、試験開始の指示があるまで封筒から出さないこと。
試験開始までの間に、熟読してください。

解答にあたっては、以下の点に注意すること。

(1) 志願票に記載した「専門科目」について、問題1、問題2とも解答すること。【必答】

(2) 解答用紙について

- ①最初に「受験番号」を記入すること。
- ②問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。
- ③2枚とも、志願票に記載した「専門科目」の解答用紙になっているか確認のこと。
- ④特記に、ペットボトル飲料等は、机の上に置かないこと。
- ⑤必ず解答の前に「解答した問番号等を明記」してから、解答を始めること。
- ⑥解答用紙の裏面を使用する場合は、裏面下部の「裏面に続く」欄を○で囲み、裏面の書き始めに注意すること。
- ⑦試験終了後は、解答用紙を封筒に入れ、机の上に置くこと。なお、問題用紙は持ち帰って構わない。

(3) 「持込不可」

- ①受験票、筆記用具、時計以外の物は、カバンの中に収納した上で、隣の座席に置くこと。
- ②特に、ペットボトル飲料等は、机の上に置かないこと。
- ③スマートフォン、通信機器等は、時計としても使用することは出来ない。必ず電源を切ること。
- ※ これらを守らない場合は、「不正行為」と見なす。

(4) 試験室内では、すべて監督者の指示に従うこと。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題：試験時間90分)
【10:00～11:30】

2024年10月 5日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【経営学】 ※ 以下の問題1・問題2の面方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1 以下の問1、問2の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

- 問1 製品ライフサイクル (Product Life Cycle) について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。
 - (1) 製品ライフサイクルの4段階に関し、それぞれ経営戦略との関係を説明しなさい。
 - (2) 製品ライフサイクル・モデルを成長戦略論に適用する際の限界を、少なくとも3点、説明しなさい。

問2 プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (Product Portfolio Management, PPM) について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) BCG (Boston Consulting Group) モデルやGE (General Electric) モデルを含むPPM手法には、幾つかの長所と同時に、適用上の問題も存在する。PPM理論に基づき戦略的意思決定を行う上での問題点を説明しなさい。
- (2) 戦略事業単位 (Strategic Business Unit, SBU) とは何か説明しなさい。

問題2 以下の問1、問2、問3の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

- 問1 企業の種類について、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。
 - (1) 企業形態とは何か、学術定義を交えて説明しなさい。
 - (2) 公企業と私企業についてそれぞれ説明しなさい。
 - (3) 合同会社と株式会社の違いについて説明しなさい。
- 問2 組織文化および組織文化の変革について、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。
 - (1) 組織文化の3つの作用をそれぞれ説明しなさい。
 - (2) 組織文化の変化が抑制される理由を3つあげてそれぞれ説明しなさい。
 - (3) 組織文化の変革を促す具体的方法を4つあげてそれぞれ説明しなさい。
- 問3 モチベーション研究における公平理論について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。
 - (1) 公平理論において人が公平、不公平を感じるに至る過程を説明しなさい。
 - (2) 人が不公平を感じた時に行う行動を5つあげてそれぞれ説明しなさい。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題

(1科目・2題:試験時間90分)

【10:00～11:30】

2024年10月 5日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題

(1科目・2題:試験時間90分)

【10:00～11:30】

2024年10月 5日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【会計学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1

金融商品取引法と会社法による財務会計の相違をその機能の観点から説明しなさい。また、現行の企業会計は、金融商品取引法会計と会社法会計のいずれの立場から主として策定されていると考えられるか(いずれの機能を重視していると考えられるか)説明しなさい。

問題2 以下の問1と問2の両方に答えなさい。

問1 事業部制組織で使われる振替価格とは何か、どのような目的で使用されるかを説明しなさい。

問2 振替価格がどのような場合に、どのような基準で設定されるかを説明しなさい。

【商学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1 以下の問1と問2の両方に答えなさい。

問1 広告効果の測定について論じなさい。また、その測定の困難性についても論じなさい。

問2 以下の用語について両方とも説明しなさい。

- ① ブランド・エクイティ (Brand Equity)
- ② 計画的陳腐化戦略

問題2 以下の問1と問2の両方に答えなさい。

問1 百貨店は日本の小売産業に近代的経営手法を導入した革新的業態であったが、高度経済成長期を通じて急速に勢力を増した総合スーパーに主役の座を譲った。当時の主役の交代の変遷について企業名をあげながら具体的に説明しなさい。

問2 以下の用語のうち2つを選んで説明しなさい。

- ① 問屋無用論
- ② オープン・ブライス化
- ③ 中心市街地活性化法

※ 「受験番号」欄のある解答用紙（1枚）を提出すること。

日 本 語

問題

あなたが最近関心を持ったニュースについて、600字以上800字以内で書きなさい。その際、ニュースの概略を解説し、自分の意見を述べること。

※ 「受験番号」欄のある解答用紙（1枚）を提出すること。

2025年 2月17日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

日 本 語

■ 注意事項 ■

問題用紙・解答用紙とも封筒の中に入っているが、試験開始の指示があるまで封筒から出さないこと。
試験開始までの間に、熟読してください。

解答にあたっては、以下の点に注意すること。

- (1) 解答用紙について
- ① 「受験番号」欄のある解答用紙（1枚）を使用すること。

② 最初に「受験番号」を記入すること。

③ 試験終了後は、解答用紙を封筒に入れ、机の上に置くこと。なお、問題用紙は持ち帰って構わない。
- (2) 解答は、日本語で行うこと。
- 辞書の参照可。ただし、電子辞書・専門用語辞書は不可。
- (3) ①受験票、筆記用具、時計以外の物は、カバンの中に収納した上で、隣の座席か座席の下に置くこと。
- ②特に、ペットボトル飲料等は、机の上に置かないこと。
- ③携帯電話、通信機器等は、時計としても使用することは出来ない。必ず電源を切ること。
- ※ これらを守らない場合は、「不正行為」と見なす。
- (4) 試験室内では、すべて監督者の指示に従うこと。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題：試験時間90分)
【10:00～11:30】

2025年 2月17日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

専門科目

■ 注意事項 ■

問題用紙・解答用紙とも封筒の中に入っているが、試験開始の指示があるまで封筒から出さないこと。
試験開始までの間に、熟読してください。

解答にあたっては、以下の点に注意すること。

(1) 志願票に記載した「専門科目」について、問題1、問題2とも解答すること。【必答】

(2) 解答用紙について

- ①最初に「受験番号」を記入すること。
- ②問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。
- ③2枚とも、志願票に記載した「専門科目」の解答用紙になっているか確認のこと。
- ④問題の中で「問が複数ある場合」および「問を選択して解答するよう指示がある場合」は、必ず解答の前に「解答した問番号等を明記」してから、解答を始めること。
- ⑤解答用紙の裏面を使用する場合は、表面下部の「裏面に続く」欄を○で囲み、裏面の書き始めに注意すること。
- ⑥試験終了後は、解答用紙を封筒に入れ、机の上に置くこと。なお、問題用紙は持ち帰って構わない。

(3) 「持込不可」

- ①受験票、筆記用具、時計以外の物は、カバンの中に収納した上で、隣の座席か座席の下に置くこと。
- ②特に、ペットボトル飲料等は、机の上に置かないこと。
- ③携帯電話、通信機器等は、時計としても使用することは出来ない。必ず電源を切ること。
- ※ これらを守らない場合は、「不正行為」と見なす。

(4) 試験室内では、すべて監督者の指示に従うこと。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題：試験時間90分)
【10:00～11:30】

2025年 2月17日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【経営学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1 次の問1、問2の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

問1 M. ポーター (M. Porter) の提唱した価値連鎖について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) 価値連鎖とは何か説明しなさい。
- (2) 価値連鎖の独自性の追求が市場での競争優位をもたらす理由を説明しなさい。

問2 経営戦略における参入障壁について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) 参入障壁とは何か説明しなさい。
- (2) 主な参入障壁の要因を少なくとも7つあげ、それぞれ説明しなさい。

問題2 次の問1、問2、問3の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

問1 従業員の参加について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) 企業における参加の実践的な展開として、経営学研究において重要なものと位置づけられている例を3つあげ、それぞれ説明しなさい。
- (2) 参加の理論的研究を3つあげ、それぞれ説明しなさい。

問2 リーダーシップ論におけるオハイオ研究について説明しなさい。

問3 官僚制の逆機能論について説明しなさい。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題

(1科目・2題:試験時間90分)

【10:00～11:30】

2025年 2月17日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【商学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1 次の問1と問2の両方に答えなさい。

問1 企業の社会的責任とマーケティングの関係について、①その内容及び②歴史的変遷について整理した後、③マーケティングの果たす役割について、具体例をあげつつ、詳しく論じなさい。

問2 以下について両方とも説明しなさい。

- ① サービス・ドミナント・ロジック
- ② ロス・リーダーとトラフィック・ビルダーの意味と相違点

問題2 次の問1、問2の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

問1 1970年代まで主流だったメーカー主導型流通チャネルについて、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) メーカー主導型流通チャネルが1970年代まで主流だった理由を説明しなさい。
- (2) メーカー主導型流通チャネルの代表的パターンのうち小売段階まで組織化したパターンについて説明しなさい。
- (3) メーカー主導型流通チャネルの代表例であった加工食品業界におけるチャネル組織化について具体的に説明しなさい。

問2 流通で活動する主体の代表である小売企業の国際化について、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 小売企業の国際商品調達について、百貨店を事例としてとりあげ具体的に説明しなさい。
- (2) 小売企業の海外出店の経緯について、日本企業の業態別の海外店舗数の推移を踏まえて具体的に説明しなさい。
- (3) 日本の小売企業のうち、国際化を成長戦略の中心に位置づけることができた企業を1社具体的にあげ、その企業の国際化について具体的に説明しなさい。

基礎課題

問1 次の事項の中から3つを選び、それぞれ150字以内で説明しなさい。

- 1. BeReal
- 2. 半構造化インタビュー
- 3. サウンド・バイト
- 4. 応援消費
- 5. 配膳ロボット
- 6. アナログの逆襲

問2 次の主題の中から1つを選び、600字以内で論じなさい。

- 1. 単触効果
- 2. 会話型AI サービス
- 3. デジタル監視技術と自主規制
- 4. エコ・チェーンバー

専門課題

次の主題の中から1つを選び、1,000字程度であなたの考えを含めて論述しなさい。

- 1. 環境問題とメディア
- 2. 非言語的コミュニケーションと文化
- 3. 文化的再生産
- 4. キャンセルカルチャー

大学院コミュニケーション学研究科 修士課程

入学試験問題
(試験時間 基礎・専門課題あわせて 90分)

2025年2月17日実施
東京経済大学大学院
コミュニケーション学研究科

基礎課題

問1 次の事項の中から3つを選び、それぞれ150字以内で説明しなさい。

1. 多文化社会
2. フィールドノート
3. ハルシネーション
4. デジタルネイティブ
5. 文化資本
6. 集合知

問2 次の主題の中から1つを選び、600字以内で論じなさい。

1. ドゥームスクローリング
2. スノーボールサンブリング
3. 潤（ルン）
4. 熟議民主主義

大学院コミュニケーション学研究科 修士課程

入学試験問題
(試験時間 基礎・専門課題あわせて 90分)

2025年2月17日実施
東京経済大学大学院
コミュニケーション学研究科

専門課題

次の主題の中から1つを選び、1,000字程度であなたの考えを含めて論述しなさい。

1. 性暴力とメディア報道
2. 調査と人権
3. 選挙とSNS
4. プラットフォーム資本主義